（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2019.10.1 Vol.1690 10月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

第11回中央委員会

■開催日：9月11日（水）
■場　所：組合本部

すべての議案を満場一致で決定

9月11日、組合本部で、第11回中央委員会を開催し、「指定外運行処分基準の改定の件」、「在宅勤務の試験導入の件」など、すべての議案が満場一致で決定された。なお、今回より、特別中央委員（バス二日市）が、山田嘉一郎さんから吉原俊介さんに変更となった。

※決議内容の詳細は「かべ新聞第11号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

第154回定期組合員大会

■開催日：9月27日（金）　■場所：西鉄グランドホテル（福岡市）

2019年度運動方針決定 さらなる団結で運動強化

9月27日、西鉄グランドホテルにて、「第154回定期組合員大会」を開催し、真摯で活発な議論のもと、2019年度運動方針を決定。古賀孝治執行委員長のもと、2019年度の運動をスタートさせた。

※大会の詳細は、10月下旬発行予定の「定期大会特集号」でお伝えします。

古賀執行委員長

九州地連 第75回定期大会

■開催日：8月29日（木）・30日（金）　■場所：鹿児島県霧島市

九州から産別運動の発展をめざす

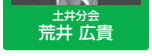
私鉄九州地連は、8月29日・30日、鹿児島県霧島市で、「第75回定期大会」を開催し、九州各地の私鉄組合員約230名が結集。「心をひとつに職場から、未来につなげる私鉄産別運動」をスローガンとする2019年度運動方針を満場一致で決定した。西鉄労組からは、執行委員9名と中央委員24名が出席。山下中央委員（国物東京）が副議長に選出され、円滑な議事進行で大役を果たした。

黒木執行委員長

森屋隆参議院議員

地連大会に参加して

要員不足、喫緊の課題と再認識



土井分会
荒井 広貴

運動方針（案）の審議では、要員不足、勤務間インターバル制度、定年延長などのテーマが議論され、各単組から出された様々な要望や意見を聞いて、特に要員不足の問題は喫緊の課題だと再認識しました。やはり、職場から労働組合が声を上げ、長時間労働による健康被害、過労死、過労自殺をなくしていくことが、要員確保に繋がると思いました。このような様々な意見、労働者のための制度を実現するため、「もりやたかし」参議院議員に国政で活躍していただき、地域の公共交通を守っていくことが必要だと思いました。

知覧の話に、戦争を語り継ぐ決意

筑紫乗務分会
野田 正満

運動方針（案）の議論を聞いて、要員不足は九州地連全体でも深刻な状況だと思いました。公共交通は、社会インフラとして必要性が高いにもかかわらず、働く人が減っている、定着しないという現実があり、今後も取り組みを推し進める必要を感じました。また、南国交通労組のバスガイドの方から、知覧についての話を聞いて、改めて、戦争について真実を忘れないことが必要であり、次世代へ継承していく意思を強く持ちました。「もりやたかし」参議院議員が誕生した今、私たちが次世代へ平和な世の中、安全・安心な暮らしを、そしてさらに魅力ある産別を作っていくためには、産別運動、労働運動の真価が問われていると感じる大会となりました。

大会風景

初参加で、副議長の大役果たす

国物東京分会
山下 義彰

今回、初めて地連大会に参加するとともに、副議長を務めることとなり、緊張を感じておりましたが、会議員皆様のご協力のもと、スムーズな議事運営ができましたことに、改めて感謝いたします。運動方針に対する質疑応答では、活発な議論がおこなわれ、組合員各位の熱い想いを感じることができました。「もりやたかし」参議院議員にも駆けつけていただき、当選を祝う中で、私鉄の仲間の団結力を強く感じる大会となりました。

ついに西鉄電車が登場 NHK鉄オタ選手権

鉄道ファンにはたまらない番組がついに西鉄へ参戦

「鉄オタ選手権～西鉄電車の陣～」が、9月25日（水）、午後10時からNHKBSプレミアムで放送されました。見逃した方は、再放送予定が、10月6日（日）午後3時30分からとなっていますので、お見逃しなく！レイザーラモンRGの「西鉄あるある」にも、乞うご期待！

出向班長交代

バス二日市出向班

（9月1日付）

【新】吉原俊介
↑
【旧】山田嘉一郎

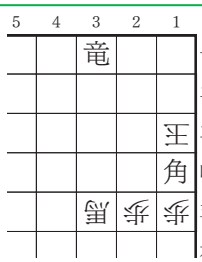
労働ニュース

家族の時給は大丈夫？ 10月から最低賃金アップ

10月から各都道府県で最低賃金が改定され、東京都と神奈川県では全国初の1,000円超えとなり、福岡県は841円（同＋27円）に改定されました。最低賃金は、働き方に関係なくすべての労働者に適用されます。働いている家族がいる方は、家族の時給を確認してみてください。

詰将棋にチャレンジ！

5手詰



持駒　金金

正解者の中から抽選で3名様に「組合オリジナルパスケース」をプレゼント!!

■応募方法
官製ハガキに「答え・住所・分会（出向先）・氏名・ご意見」をお書きの上、
〒810-0074
福岡市中央区大手門1-4-16
西鉄労組 教育宣伝部
までお送りください。

■締切：10月25日（金）必着
※当選者と回答は11月号紙面に掲載します。

連合福岡「ヤングカーニバルin沖縄」

■開催日：8月31日(土)～9月2日(月)
■場　所：沖縄県

語り継がなければならない沖縄の歴史を学習

8月31日(土)～9月2日(月)、連合福岡「ヤングカーニバルin沖縄2019」がおこなわれ、西鉄労組からは、有働さん(筑紫工場)、土淵さん(事業)、井上(柳川乗務)の3名が参加した。初日、福岡空港で最終の班長・幹事会をおこない、参加者の受け入れ態勢を整え、その後の出発式では、連合青年委員会委員長が挨拶をおこなった。那覇空港到着後は、「ひめゆりの塔」で献花・見学をおこない、語り部の方による沖縄戦の体験談を聞いた。その後、「平和の礎」で琉球バスのガイドの方から説明を受け、「首里城」では班ごとに自由見学し、ホテル到着後、全体夕食交流会・班別交流会をおこなった。

2日目は、「チビチリガマ」、「嘉数高台公園」、「糸数壕」、「海軍司令部壕跡」を見学し、ガイドの方や連合沖縄青年委員の皆さんに案内していただき、その後、ホテルで班別学習会をおこなった。

最終日は、国際通りを自由散策してから帰路に着いた。2泊3日と短い期間だったが、沖縄戦跡やアメリカ軍基地などを巡り平和の大切さについて学習するとともに、他産別の組合員とも交流を深めることができ、実りある3日間となった。

【青女協事務局長　井上翔太】

ヤングカーニバルin沖縄に参加して

この経験を自分の言葉で伝えていく

本社事業分会
土淵 裕一

8月31日から9月2日にわたり、平和学習を目的とし「ヤングカーニバルin沖縄」に参加させていただきました。沖縄では、ひめゆり隊の一員として沖縄戦を経験した方のお話を直接伺う機会や、実際に真っ暗な防空壕(ガマ)に入る経験をしました。今までは教科書に記載されるわずかな情報しか知っていませんでしたが、直接自分の目で戦争の悲惨さ、米軍基地の問題などの深刻さを感じることができました。この経験を、自分の言葉で身近な友人などに語っていきたいです。

平和の尊さ、実際に身近に感じる

筑紫工場分会
有働 輝

「ヤングカーニバルin沖縄」に参加できて本当に良かったです。なぜなら、平和学習自体は、学生の頃の授業や、テレビで見たり聞いたりして学ぶことはありましたが、実際は身近に感じることができていなかったということを、今回参加して気づくことができたからです。ひめゆり資料館・平和の礎・首里城・壕など様々な場所で話を聞いて、今と何ら変わらない普通の生徒達が軍国少年・少女として教育を受け、その教育の違いで生死までもが別れてしまったことや、戦後生き残った方が亡くなられた方へ「生き残ってごめんなさい」と思ってしまう戦争の残酷さ、終戦して74年経った今でも米軍基地などの問題が解決していないことなど、たくさんの知らなかったことを学習できました。戦争の悲惨さや命の尊さを、この先どうやって語り継いでいくのかが自分たちの大きな課題だと思いました。

産別交流チャリティボウリング大会

■開催日：9月2日(月)　■場所：西新パレスボウル

桧原と壱岐で一ワンソーフィニッシュ

9月2日、西新パレスボウルで、福岡地域労働者福祉協議会主催の「産別交流チャリティボウリング大会」が開催され、西鉄労組からは、桧原分会チームと壱岐分会チームが参加した。4人1チームで2Gのトータルスコアを競う団体戦では、桧原分会チームが見事優勝を飾り、壱岐分会チームも昨年に続き準優勝となった。また、個人戦では、吉村慶司さん(桧原)が準優勝に輝いた。なお、大会で集まった20,217円のチャリティ募金は、2019年度福祉募金として活用される。

準優勝の吉村さん(右)

【団体戦】2G合計(4人)

優　勝	西鉄労組桧原分会	1,396点
準優勝	西鉄労組壱岐分会	1,327点
第3位	西部電機労組	1,271点

【個人戦】2G合計

優　勝	上野紘孝(Q-Tecnoユニオン)	393点
準優勝	吉村慶司(西鉄労組桧原分会)	355点
準優勝	米崎漱馬(西部電機労組)	355点

分会トピックス

西鉄と能古島の将来ある交流
愛宕浜分会

9月1日、愛宕浜営業所と能古島島民の方々との交流会を実施し、西鉄からは、渕上所長、分会組合員、その関係者19名が参加しました。愛宕浜営業所が能古島でバスを運行していること、能古島公民館の河野館長が西鉄OBであることなどから、交流会が実現し、21名もの島民の方々が参加してくださいました。

当日は、あいにくの雨のため、公民館で「卓球大会・ダーツ大会」をおこなった後、バーベキューを実施。西鉄の組合員、そのご家族と、島民の方々との間で、これからの西鉄と能古島の将来などについて語り合い、有益な交流会となりました。今後も交流会を定例化し、一層、西鉄と能古島の関係が密接になるようにしていきたいと思います。

【教宣部長　花田衛】

分会研修で北陸鉄道へ
柏原分会

私たち柏原分会は、大重分会長をはじめ、計6名の役員が中心となって活動しています。昨年、役員1人が入れ替わり、新たな顔ぶれでスタートしました。

9月6日から8日にかけて、分会研修をおこないました。研修では毎年、他県の私鉄の仲間のバスや鉄道に乗り、良い点など気づいたことを皆で討議し、事務所や会社に提案したりしています。今年は、北陸鉄道のバスに乗り、組合活動に関する様々な討議をしました。短い文章では、伝えきれないほど充実した研修で、役員一同、気分一新し、今後も、組合員さんのために尽力する決意を固めました。

【教宣部長　宮本湿土】

ROUSO PEPPER vol.4

分会長にも中毒者多数!?
元祖長浜屋

組合本部がある大手門エリア(福岡市中央区)のお食事処を紹介するこのコーナー。お久しぶりの今回は、福岡市民にはおなじみ!なぜか衝動的に食べたくなってしまう長浜ラーメン「元祖長浜屋」をご紹介します。

長浜ラーメンで有名な長浜地区は、数多くのラーメン屋が軒を連ねる、福岡でも有数のラーメン地帯。なかでも、長浜ラーメンの元祖と言われる「元祖長浜屋」は、福岡市民から「ガンソ」「ガンナガ」などと呼ばれ、早朝から深夜まで多くのお客さんで賑わっています。

スープはあっさり目ですが豚骨の香りがたっている独特の味に加え、細麺の麺は食べやすく、量はかなりボリューミー。ラーメンたれ、紅ショウガ、コショウなどで、自分なりの味に仕上げることもできます。お店は、深夜、早朝も開いているので、ぜひ一度立ち寄ってみてください♪

ところで、「元祖長浜屋」をめざして長浜に行ってみると、「元祖長浜屋」と似た店名のラーメン屋が複数あり、初見さんは混乱間違いなしの状況になっています。とくに、約10年前、元祖長浜屋の元従業員さんが開業した「元祖ラーメン長浜家」は、味はもちろん店内の雰囲気まで、ほぼ「元祖長浜屋」と同じ(経営は無関係)。さらに、その後、長浜屋出身者による「元祖ラーメン長浜屋台」も近くにオープンしています。3店舗すべてに行ってみて、味の違いを確認してみるのも面白いかもしれません。

「元祖長浜屋」 福岡市中央区長浜2-5-38